

米本くん、天国の地図を

田中 博 / 武石雄市
山口敏夫 / 平林静保
堀江守弘

米本路憲さんが2006年4月8日に逝去した。享年25歳。若くて情熱的な彼のオリエンテーリング活動は、世代を超えて期待されていただけに、突然の訃報にオリエンテーリング界は驚いた。寄せられた思いをここに綴る。

米本君ありがとう

トレイルO研究会会長 田中博
米本君、君が初めてトレイルに深く関わり始めたのは、東北大会前日のトレイルOの大会からでした。小山さんとの2人3脚で、トレイルOのコースセット、地図修正に、その、並々ならぬ、力量を発揮され、経験が浅く、若いのに、良くトレイルが解っていると、評判をとりました。

その後、世界トレイルオリエンテーリング選手権大会の開催が決定し、私はすぐに、世界選手権大会の第2日目の副競技責任者として、浦野さんと共に、大事な大会を任せようと、思いました。幸いにも、遠い処にいて、就職も控えているのに、出来る限りの協力をしましと、快諾をもらい、さすが米本君決断が早いと勇気をもらいました。

その後、何回かの準備会議に参加され、さてこれから、世界選手権に向けて、大事な時期を迎えるという時に、あの知らせを受けたのです。淡々と、「これから入院です、血液の癌らしいんです」と。

今でも、あの高く響き渡るような笑い声が耳に残ります。米本君の大会に対するアイデアの豊かさ、見識 オリエンテーリング界には珍しい、鳥瞰図的にオリエンを見られる人でした。トレイルOの普及発展には無くてはならない人材でした。君を失った今、その喪失感に愕然としています。

米本君、掲示板に書かれていた、君のトレイルOへのアイデア、私たちが引き継ぎます。君のオリエンに対する強い思い、私の心にしっかりと受けました。

米本路憲君、君は良く頑張った、骨惜しみをしなかった。最後まで病氣と闘い病院からも、トレイルのランキン



2005年3月日光インカレにて。後輩たちの活躍に声援を送る米本路憲。この年、彼の出身校・東北大学は悲願のインカレ優勝を遂げる。そのわずか3ヶ月後に白血病で入院。

グ作成の仕事をしてくれました。有難う 本当にありがとう。今は感謝の言葉しかありません。

やすらかに眠りください。天国の地図を作って、楽しんでください。

(田中博)

聞いたが、かまわず見舞いにさくらんぼを届けた。私の心からの短い激励文を添えて・・・君は、主治医から許可されて食べた、さくらんぼの美味しさを返信してきた。来年は、きっと両親を山形に案内すると書いてあった。

米本路憲君のご逝去を悼む

山形県オリエンテーリング協会
理事長 武石雄市

昨年6月、君自身で発病を発表したとき私はとても信じる事ができなかった。気にはなっていた。エントリーした東大会に姿を見せず、学生時代にあれほど入れ込んだ「さくらんぼ大会」にも音沙汰がない。なんとなく胸騒ぎがして就職先に電話しようとした矢先のメールだった。必ず元気になってもらわなければ・・・ここ数年、全国各地の大会会場から聞こえたあの高笑いをこれからも響かせてもらわなければ・・・

絶食している事を担当のナースから

君との付き合いは君が大学1年で1999年の秋、「なでらやま」の地図調査からだった。君の担当はわずかな場所だったが、思うように表現できない君は次第に調査と作図を徹底的に勉強し、のめり込んでいった。

あれから6年間、それは次第に大会のあり方、運営の方法論に発展し衰退傾向だった東北の大学や地域クラブに活を入れた。

日本学連の幹事長に就任して学生をまとめ、仙台クラブに若者を入部させては活力を与え、トレイルを勉強し、そして今年は日本オリエンテーリング協会の競技専門委員会委員になり、大所高所から俊腕を発揮するはずだった。

ングへのはまり具合は間違いなく一番だった。その様子は先輩部員でさえ圧倒されるほどだった。

5月中旬の新歓合宿の場。新入生はこの合宿でオリエンテーリングの基本を叩き込まれ、その総まとめとして新入生によって争われる「こけし杯」が開催される。米本はそのこけし杯で圧倒的な遅さでゴールし、周囲の話題をさらった。

それからが米本の苦労の始まりで、同期の中で練習会や大会への参加率は圧倒的に一番なのに、順位はいつも一番最後というのが定着していた。そしてその定説が崩されることなく1年が終わった。

【2000年】

この頃は私自身大会に多く参加していたせいか遠征時米本と同じ車になることが多かった。2年生になっても米本のオリエンテーリングへの情熱は衰えるはずもなく、遠征時の車内で3時間でも4時間で延々とオリエンテーリング(特に地図)について語り続けた。

1年の秋から春にかけて始めて、初めて地図調査を経験したせいか、オリエンテーリングの中でも特に地図に対する興味が増大したようで、車内で米本の話が途切れることはなかった。

黙っているかと思えば車外に目や、何をしているのかと思えばどうやら窓の外を通り過ぎる森がトレインに使えないかと検討している様子だった。

将来の大会への彼の構想は、この頃からすでに始まっていたのだ。

【2001年】

この年、宮城県北部で開催された東北大会を当時3年生だった私達同期が中心になって開催した。

米本はこの大会の自分の役割としてマッパーを熱望していたのだが、残念ながら手持ちの資金でパソコンを買う余裕がなかったようで、泣く泣く諦めた。

結局米本は受付チーフを担当し、無事東北大会は終了したのだが、自分達の代が開催した東北大会が余程満足に行くものとは程遠かったのだろうか、この頃から大会運営に対する構想や、あるべき姿などを語り始めた。彼の頭は大会運営で埋め尽くされるようになり、自転車でトレイン探しに出かけるようになったのもこの頃だったような気がする。

そしてこの時期、米本はライバルと出会った。それぞれが「米本＝東北の山田」「山田＝早稲田の米本」と呼ばれるまでに似ていると言われた早大0Cの山田雄一郎だ。キャラクターが似てい

るばかりでなくオリエンテーリングの成績も同じくらいだったせいか、お互いがお互いを意識している様子だった。傍から見ていて面白かったとしか言いようがなかった。

【2002年】

地図のことしか頭になかったかに思われた米本だったが、実はそれ以外にも様々な活動に取り組んでいた(当然オリエンテーリング関係だったのだ)。

東北大の渉外を担当していた関連で、3年次に北東学連の幹事長を務め、4年次には日本学連幹事長を務めるようにまでなった。先ほどの早大0Cの山田も同じ幹事会メンバーで、米本いわく「至上最低の幹事会」を作り上げたとのこと。とは言っても米本の事。きっと幹事会では毎回毎回熱い議論を繰り広げ、学連に対して大きな貢献をしたに違いない。

この年の米本について特筆すべき事は他にもある。

一つは大会運営について

米本は現役生として(当時の東北大生としては)まれに見るような事やっていた。ほぼ自分一人の力で大会を開催してしまったのだ。

しかも東北大0LCがホームトレインとしている青葉山をほぼ一人で調査してしまったのはすごいとしかいいようがない。

また、この頃オリエンテーリング界では全国的にGPSによる調査が定着し始めた頃で、米本も当然GPSに並々ならぬ興味を示し、ついにはこの調査のために自費でGPSを購入してしまった。

ところが彼にとってはなけなしのお金だったにも関わらず2万円のGPSでは調査にはいささか能力不足だったようで、当時は「このGPSでも地図の歪みを強制するのに役に立つんだ!」と主張していたが、翌年の地図調査でそのGPSが登場することはなかったようである。

そしてそのトレインで翌年東北大会が開催が決定し、彼の調査した地図が何十人もの現役生の手によってリメイクされてしまった事にはあまり触れないでおこう。参加者の記憶に残る大会が開催できればそれでいいのだ。

話は変わって、競技について

米本と言えば地図、というイメージが先行してしまうが、競技への取り組みも実は真面目に行っていた。トレーニング量は決して多くはなかったようだが、自分なりに工夫をし、競技に取り組んでいたようである。4年次にな

るとみんな研究室などで忙しくなってしまう、部から離れてしまう人が多い中、米本は部の活動への参加率がかなり高い方だった。1年次には決まって同期でピリだった米本も諦めず競技を続けていたせいか、いつのまにか成績が上がり、菅平で開催されたインカレショートで念願のエリートクラスへ出場がなかった。

米本がエリートに出場するのを見て継続は力なのだと少し嬉しくなったのを覚えている。

米本の現役4年間は大体こんな感じだった。

【2003年】

大学院に進学し、現役を引退しても米本のオリエンテーリングに対する情熱は衰えることはなかった。むしろ、大学の外に自分の考えを受け入れてくれる場があることを知ったからか、以前より生き生きとしているようにさえ見えた。

大会会場ではいつも会場内を飛び回り、色んな人(おそらくオリエンテーリング界の著名人)と話しまくる米本の姿がいつも見受けられた。

ところで、私にとって米本との一番の思い出は?と聞かれて真っ先に答えるであろう大会がある。

0B一年目の年に米本が中心になって開催した東北大会の前日大会、台原森林公園でのワンマンリレー形式の大会だ。

私はこの一年間0Gとして仙台に在住していて、比較的時間も余裕があったため、物好きにもこの大会の運営の手伝いを調査から、作図、当日の運営まで行った。

しかしどういう訳か私と同じような人がいたようで、去年は米本一人だった地図調査者は5人くらいに増えていた。米本の活動のようやく周囲の理解を得始めていたようである。

まだ暑さの残る9月、仙台市内に程近い森林公園の山の中でどうして私は好き好んでこんなことをやっているんだろうと思いながら始めた調査だったが、米本と一緒に日が暮れるまで調査するうちに絶対にこの大会を成功させたい!という思いが沸いてきて、いつの間にか運営に夢中になっていた。

大会前日はみんなで翌日の会場レイアウトの確認や、地図交換のシミュレーションなどについて辺りが真っ暗になるまで語ったことが最も印象深い。

有志で大会を運営するってこんなに楽しいんだ、と心から思えた大会で、こんな経験をさせてもらった米本には本当に感謝している。

先日、金沢からの通夜の帰りの車で米本との一番思い出に残るのは？ という話題になった時、その時いた同期3人のうち全員が違う大会の運営の名前を挙げた。米本は私達にとってそんな存在だった。

【2004年】

2004年度は私自身が仙台を離れてしまったため、残念ながら米本について詳細に語ることはできない。

確かこの年彼が3回目に関く有志の大会で、念願のニューマップを作成に成功したようだった。彼が以前から目をつけていて、自転車で何時間もかけて通った仙台市の南方になる岩沼市の海浜地区での2日間大会だった。

2005年度、大学院を卒業した米本は地元、金沢に帰り就職しました。実は彼が大学4年の時に、彼の弟が心臓病で亡くなっていて、子供が一人だけになってしまったためだと思いますが、親を安心させたいからだと言っていました。

そんな彼も、残念ながら就職して間もなく病気を発病してしまいました。

彼は病床で、インターネットを通じてずっと外部に対して情報を発信してくれていました。

自身の病状に関することもありましたが、将来の大会の構想について、特に自分が復帰後どんな大会を開催したいかについて熱く語っており、かなり具体的な内容でした。

残念ながら、その大会を開催することは出来ませんでした。

代わりと言っては何ですが、今年の夏、米本に関係のある大会が2つ開催されます。

一つは99年入学同期会による米本追悼大会です。8/5、8/6に米本の追悼の意を込めて彼が調査した地図、矢板の「ししおや」で開催する予定です。米本ならではのイベント性のある楽しい大会に出来たらと思っています。(詳細は要綱をごらんください)

もう一つは9/3に宮城県の泉が岳で開催される東北大会です。泉が岳は実は米本が以前から目をつけていたトレイン(NewMap)で、昨年秋に金沢にお見舞いに言った際に来年の東北大会が泉が岳で開催されると伝えたら大喜びしてぜひ参加したいと言っていました。

実際トレインに使用される場所が米本が目をつけていた場所と正確に一致

するかどうかは分かりませんが、東北大生の手によって米本の夢が一つ実現される、ということで喜ばしいことなのではないでしょうか。

この二つの大会にぜひご注目ください。

長文になってしまいましたが、米本の思い出はここには書ききれないくらいたくさんあります。いつも一生懸命で、実行力があり、少し暴走気味のところがあっても、なんだかんだ言ってもみんなに愛されていたキャラクターだったと思います。

改めてご冥福をお祈りいたします。
(平林静保)



大会が後、プールでE-cardを洗う米本路憲。
(2004年8月1日岩沼2日間大会)
夢をひとつ叶え、次の夢へ向かう。

米本さんエピソード

堀江守弘

僕の中で一番印象に残っている出来事を書いてみました。

私が大学一年時のインカレのことで、私は、バイクで現地に向かったため、モデルイベントの会場から宿泊先のホテルまでも単独行動となりました。

幹事をしていた米本さんにホテルの名前を聞くと「ホテルかまべ、だよ」とのこと。おおよその場所もわかったし一人でもたどり着けるだろうと思いそれほど心配なくホテルへ向かいました。

しかし、ホテル周辺と思われる地域に入っても、全くそれらしい看板が見当たりません。次第に天候も悪化し、日も暮れ始め、このままではまずいと思い、道行く人に聞いて見ました。し

かし、私が探しているホテルは知らないとのこと。

それからもしばらく行ったりきたりして探していると、旅行代理店発見！さすがにそこで聞けばわかるだろうと思い、びしょぬれの格好のまま「ホテルかまべ探しているんですけど」と、お店の人は「？？？」。「かまべ」なんていう名前のホテルは聞いたことがないとのこと。

いや、確かにこの近辺にあるはずなんだけどな～と思いそのことを伝えてもわからず、そこで、米本さんの携帯に電話して「ホテルかまべ」が見つからないと伝えました。そしたら、しばらく周りの人と話した後、

「があ！？かまべじゃなくて、ホテルがまごおりだった」

ええ～！！読み方まちがってたんですか？！その後、私は無事にホテル蒲郡にたどりつけたのですが、蒲郡を「かまべ」と読み間違えたなんと米本さんらしい、ちょっとおっちょこちょいな、でもにくめない出来事でした。

(堀江守弘)

米本路憲 追悼大会

2006年8月5-6日

場所 栃木県塩谷町

トレイン：「ししおや」
(ほしふるしおや)

8月5日(土)

ポイントO・トレイルO

8月6日(日)

リレー

99年度入学同期会による2日間大会
米本路憲くんが地図調査した「ししおや」にて大会を開催

<http://outdoor.geocities.jp/love99yonemoto/>